



2022年12月26日

各 位

会 社 名 三 菱 電 機 株 式 会 社
代 表 者 名 執 行 役 社 長 漆 間 啓
(コード番号 6503 東証プライム市場)
問 合 せ 先 広 報 部 長 山 崎 江 津 子
(TEL 03-3218-2111)

会 社 名 三 菱 重 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 泉 澤 清 次
(コード番号 7011 東証プライム市場)
問 合 せ 先 I R ・ S R 室 長 井 上 卓
(TEL 03-6275-6200)

三菱電機と三菱重工が発電機分野での事業統合に向けた検討開始を基本合意

三菱電機株式会社(執行役社長:漆間 啓、以下、「三菱電機」)と三菱重工業株式会社(取締役社長:泉澤 清次、以下、「三菱重工」)は、両社の発電機事業(以下、あわせて、「対象事業」)を統合して新たに合弁会社を設立(以下、「本統合」)するべく、具体的検討に入ることをそれぞれ決定し、基本合意しました。

当該合弁会社は、両社の対象事業をそれぞれ集約・統合するもので、三菱電機がマジョリティ出資者、三菱重工がマイノリティ出資者となることを想定しています。

地球温暖化に伴う気候変動が人類共通の課題として顕在化し、温室効果ガス排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが世界中で加速しています。今後は、新興国を中心とした経済成長等による電力需要の増加やエネルギー安全保障への意識の高まりを背景に、既存の火力発電設備を活かしつつ、水素・アンモニアをはじめとするカーボンフリー燃料への転換など、現実的なエナジートランジションが進展する見通しです。

また、天候などにより発電量が左右される再生可能エネルギーの変動性を補う調整力として、従来の電力インフラを支えてきた大型発電システムの活用も必要とされています。さらに、非同期電源である再生可能エネルギーの導入拡大に伴い課題となる電力系統の安定化には、今回の事業統合の対象であるタービン発電機の持つ、同期電源としての慣性力・電圧維持能力にも期待が寄せられています。

このように電力を取り巻く環境が世界中で大きく変化する中、三菱電機と三菱重工は、対象事業を統合し、両社が保有する技術・資産を結集することで、一層の市場競争力強化を実現するため、今回の基本合意に至ったものです。両社は、本統合の実現を契機に従来以上の強固なパートナーシップを構築し、発電機事業をよりグローバルに拡大していくことで、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

なお、本統合の概要は別紙の通りです。その他詳細は決定次第お知らせします。

以上

本統合の概要

1. 本統合の事業範囲

本統合の対象となる範囲は、発電プラントの重要設備であり、かつ原動機と直結する発電機及びその関連設備の基本計画、設計、開発、製造、販売及びアフターサービス業務を予定しています。

2. 本統合の方式

本統合は、三菱電機及び三菱重工が、それぞれ対象事業を、吸収分割により合弁会社に承継させる方法により実行する予定です。本統合の諸条件については、本統合に係る最終契約の締結までに、両当事者間で協議の上で決定いたします。

3. 本統合の当事会社の概要

(1) 名称	三菱電機株式会社	三菱重工業株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号	東京都千代田区丸の内三丁目 2 番 3 号
(3) 代表者の 役職・氏名	執行役社長 漆間 啓	取締役社長 泉澤 清次
(4) 事業内容	インフラ、インダストリー・モビリティ、ライフ、ビジネスプラットフォーム等製品の開発、生産、販売、サービス	エネルギー、プラント・インフラ、物流・冷熱・ドライブシステム、航空・防衛・宇宙、その他事業に係る製造等
(5) 設立年月日	1921 年 1 月 15 日	1950 年 1 月 11 日
(6) 資本金	175,820 百万円 (2022 年 3 月末日現在)	265,608 百万円 (2022 年 3 月末日現在)
(7) 発行済株式数	2,147,201,551 株 (2022 年 3 月末日現在)	337,364,781 株 (2022 年 3 月末日現在)
(8) 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(9) 大株主 及び 持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 16.91% SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT 5.03% 株式会社日本カストディ銀行(信託口) 4.63% (2022 年 3 月末日現在)	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 15.61% 株式会社日本カストディ銀行(信託口) 5.06% 明治安田生命保険相互会社 2.37% (2022 年 3 月末日現在)
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績 (2022 年 3 月期)		
資本合計	3,097,397 百万円	1,662,529 百万円
資産合計	5,107,973 百万円	5,116,340 百万円
1 株当たり親会社 株主帰属持分	1,409.08 円	4,696.42 円
売上高	4,476,758 百万円	3,860,283 百万円
営業利益	252,051 百万円	-
事業利益	-	160,240 百万円
税引前当期純利益	279,693 百万円	173,684 百万円
親会社株主に 帰属する当期純利益	203,482 百万円	113,541 百万円
基本的 1 株当たり 親会社株主に帰属する 当期純利益	95.41 円	338.24 円

4. 合併会社の概要

出資比率は三菱電機がマジョリティ出資者、三菱重工がマイノリティ出資者となる予定ですが、今後実施予定のデューデリジェンス等の内容を踏まえ詳細含め確認・検証を行う予定です。その他合併会社の詳細は、決定次第お知らせいたします。

5. 本統合の日程

2022年12月26日 基本合意

2023年5月下旬(予定) 最終契約 締結

2024年4月1日(予定) 効力発生日

(注1) 本統合の効力発生は、国内外の競争当局による承認等を条件としております。

(注2) 三菱電機及び三菱重工がそれぞれ行う吸収分割は、会社法第784条第2項の規定に基づく簡易吸収分割に該当する見込みであるため、三菱電機及び三菱重工は、それぞれ株主総会の承認決議を経ずに当該吸収分割を行う予定です。

6. 今後の見通し

本統合に伴う三菱電機及び三菱重工の業績への影響等につきましては、明らかになった段階でお知らせいたします。